

**製品名: TCF-9 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18737**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	80kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GCFC2
別名	GCFC2; C2orf3; GCF; TCF9; GC-rich sequence DNA-binding factor 2; GC-rich sequence DNA-binding factor; Transcription factor 9; TCF-9
遺伝子 ID	6936.0
SwissProt ID	P16383
免疫原	抗血清はヒト GCF 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

**背景**

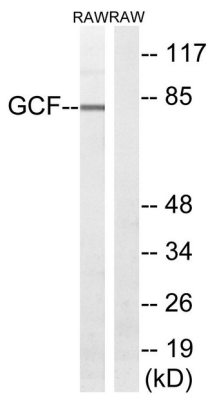
この遺伝子について最初に単離された mRNA 転写産物は、2つの異なる遺伝子転写産物とクローニングプロセスで使用されたプライ

マーから作製された人工キメラの一部であった (Genbank アクセション番号 M29204 参照)。キメラにのみ存在する正電荷を帯びたアミノ末端が GC リッチ DNA に結合することが判明したため、転写因子遺伝子を同定するものと誤って考えられた。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: 転写抑制因子。上皮成長因子受容体、 $\beta$  アクチン、およびカルシウム依存性プロテアーゼプロモーターに存在する GC リッチ配列 (5'-GCGGGGC-3') に結合する。、配列に関する注意: コンタミネーション配列。N 末端は 2q37.3 領域と一致する。、類似性: GCF ファミリーに属する。、組織特異性: 組織および細胞株で広く発現する。、

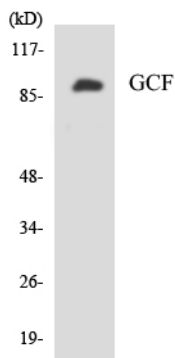
## 研究分野

幹細胞経路; タンパク質アセチル化

## 画像データ



GCF 抗体を用いた RAW264.7 細胞ライセートのウェスタンプロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



GCF 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウエスタン プロット分析。